

ディフェンシブ株の魅力

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

2022年12月30日

「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)
愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)」が、
「R&Iファンド大賞2022」投資信託部門 北米株式高
配当 におきまして『最優秀ファンド賞』を受賞しました。

当ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。



「R&Iファンド大賞」は、格付投資情報センター(R & I)が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

当レポートでは、米国株式市場の動向と2022年の振り返り、および当ファンドの運用経過と今後の運用方針についてお伝えいたします。

月末にかけて、売りに押される

12月の米国株式市場は下落しました。月の前半は、11月の消費者物価指数(CPI)の伸びが鈍化したことや、米連邦公開市場委員会(FOMC)での利上げ幅が、前回までの0.75%から0.50%に縮小されたことを受け、底堅く推移しました。月の後半は、市場予想を下回る経済指標の発表を受け景気後退懸念が高まるなどし、売りが優勢な展開となりました。(12月23日現在)

業種別では、公益事業セクターや、ヘルスケアセクターなどが市場をアウトパフォームしました。一方、一般消費財・サービスセクターや、情報技術セクターなどは市場をアンダーパフォームしました。(図表1)

2022年はディフェンシブ株が堅調な年に

年末にあたり、2022年の米国株式市場を振り返ってみたいと思います。

図表2は、2022年のS&P500種指数のセクター別のパフォーマンスです。(12月23日現在)

2022年は、**全11セクター中6セクターが10%以上下落する厳しい市場環境**となりました。

一方、ウクライナ情勢の悪化から原油価格が上昇し、エネルギーセクターは大きく上昇しました。

また、エネルギーセクター以外でS&P500種指数をアウトパフォームしたセクターとしては、**公益事業や生活必需品、ヘルスケア**といったセクターが挙げられます。これらのセクターに共通するのは、事業が景気変動の影響を受け難い「**ディフェンシブ株**」に分類されるという点です。

2022年のように厳しい市場環境下では、そうした「ディフェンシブ株」が優位であったと言えます。

2023年前半の見通し

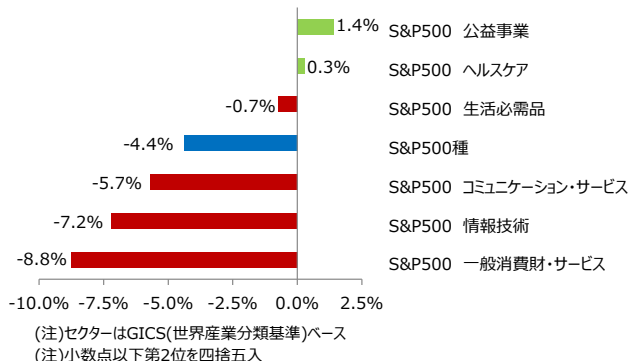
ディフェンシブ株優位の状況は、2023年も続くと考えられます。

図表3は、S&P500種指数の予想売上高成長率と、予想1株当たり利益(EPS)成長率の推移を、四半期ごとに示したものです。

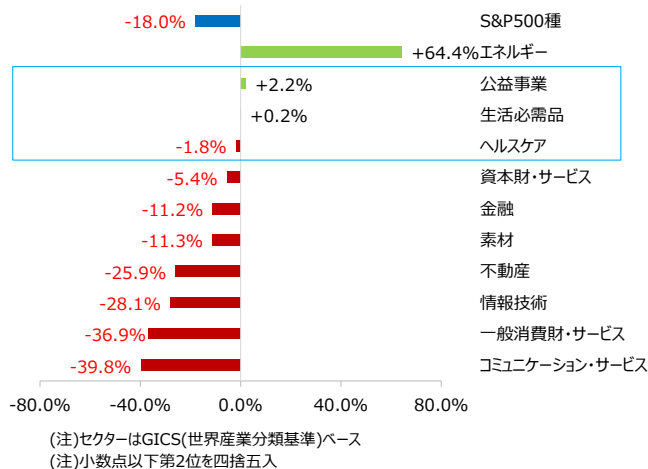
インフレの高止まりや、景気悪化などの影響により、予想EPS成長率は、2022年第4四半期から、2023年第2四半期まで3四半期連続でマイナスの成長が予想されています。

この状況から、2023年上半期までは、業績の不透明感が強い環境が続くと予想され、業績面での安定性が高いディフェンシブ株が相対的に選好される相場展開が続くものと想定されます。

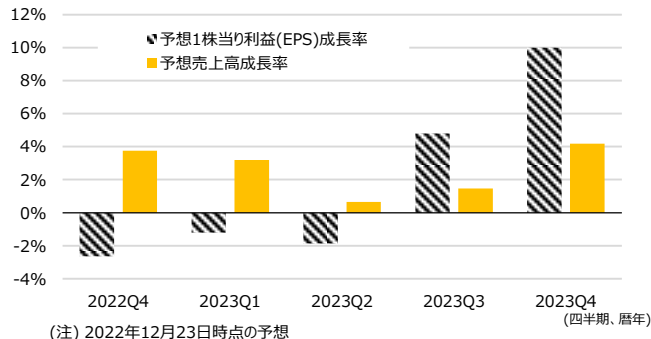
図表1 S&P500種指数のセクター別リターン上位下位3セクター
(2022年11月23日～2022年12月23日、日次、配当込み)



図表2 2022年のS&P500種指数のセクター別リターン
(2021年12月31日～2022年12月23日、日次、配当込み)



図表3 S&P500種指数の予想売上高成長率、予想EPS成長率の推移
(2022年第4四半期～2023年第4四半期、対前年比)



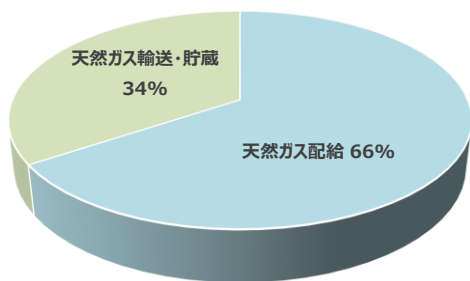
＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

個別銘柄紹介 : アトモス・エナジー(ATO) : 連続増配銘柄

図表4 アトモス・エナジーの部門別営業利益
(2022年度、年次)



※アトモス・エナジーの決算年度末は9月

テキサス州を拠点とするガス公益企業

アトモス・エナジーは、テキサス州を拠点とするガス公益企業です。主力事業は、テキサス州をはじめとする米国南部の州を中心とした**都市ガス(天然ガス)配給事業**と、パイプラインによる**天然ガスの輸送・貯蔵事業**の2部門で構成されています。(図表4)

これらの事業は、価格や市場参入などが規制されており、原材料コストの上昇なども、顧客に転嫁することが可能です。この点から、アトモス・エナジーは**典型的なディフェンシブ株**といえます。

持続的な利益成長とコスト管理

図表5は、アトモス・エナジーの調整後1株当たり利益(EPS)と、1株当たり配当金(DPS)の推移です。2022年度まで、調整後1株当たり利益は**19年連続**、1株当たり配当金は**37年連続**の成長を持続しており、同社の安定性の高さを示しています。

また、同社は信用力も高く、資金調達コストを抑えることが可能となっています。図表6をみると、長期金利が上昇した2022年度以降でも、**長期負債のコストは低水準のまま推移**しています。

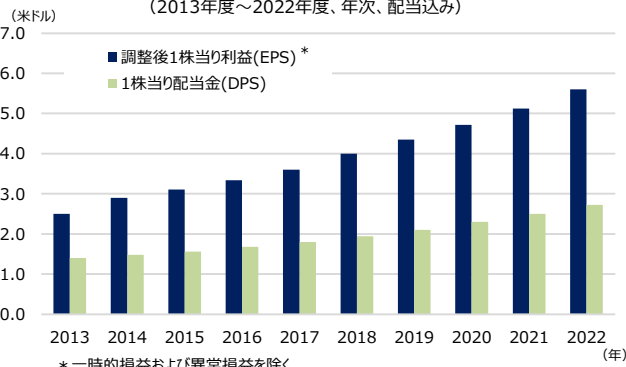
下落局面に強いだけではないディフェンシブ株

一般的なディフェンシブ株の特徴として、市場の下落局面ではアウトパフォームするものの、上昇局面ではアンダーパフォームしやすいと考えられています。特に、市場が短期間に急上昇するような局面では、出遅れる傾向があるといえます。

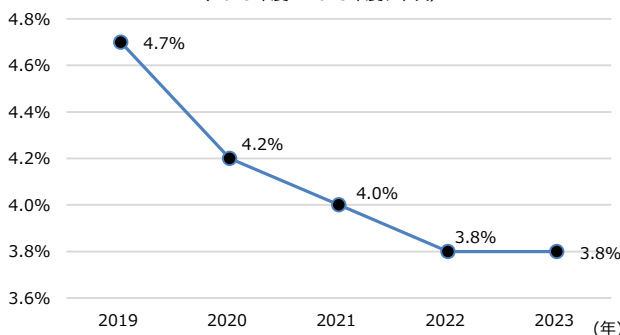
しかし、同社の長期的なパフォーマンスを見ると、**ディフェンシブ株の魅力は下落に強いだけではない**ことがわかります。

図表7は、アトモス・エナジーの過去30年間の株価パフォーマンスを、主要な米国株価指数と比較したものです(いずれも配当金再投資ベース)。同社株の30年間のパフォーマンスは、**S&P500種指数**だけでなく、テクノロジー株などの成長株が多く含まれる**ナスダック総合指数**に対しても、アウトパフォームしています。

図表5 1株当たり利益(EPS)及び1株当たり配当金(DPS)の推移
(2013年度～2022年度、年次、配当込み)



図表6 アトモス・エナジーの加重平均長期負債コストの推移
(2019年度～2023年度、年次)



(注)2023年度は会社予想

(注)2021年度は自然災害時の特別な借り入れを含みます

図表7 アトモス・エナジーと主要米国株価指数の長期パフォーマンス
(1992年11月末～2022年11月末、月次、配当込み)



(注) S&P Dow Jones Indices LLCの各インデックスは、S&P Dow Jones Indices LLCが発表しており、著作権はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属しています。

(注) NASDAQ Composite Indexは、全米証券業協会が開設・運営している電子株式市場「NASDAQ」に上場している全銘柄を対象に算出した指数です。

(出所) 図表4～7は、各種資料及びBloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

本資料における銘柄紹介は、情報提供を目的とするものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

運用状況(作成基準日 2022年12月26日)

設定来の基準価額の推移



※基準価額は1万円当たり、信託報酬控除後です。
※分配金再投資基準価額は、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドデータ

基準価額	9,420円
残存元本	3,738,324,761口
純資産総額	3,521,437,289円
実質株式組入比率	92.3%
短期金融商品その他	7.7%
組入銘柄数	88

直近5期の分配金の推移

第27期(2022年12月26日)	0円
第26期(2022年09月26日)	0円
第25期(2022年06月27日)	0円
第24期(2022年03月28日)	0円
第23期(2021年12月27日)	550円
設定来合計	8,250円

※比率は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
※各決算期における分配金は1万円当たり(税引前)です。

組入上位10業種

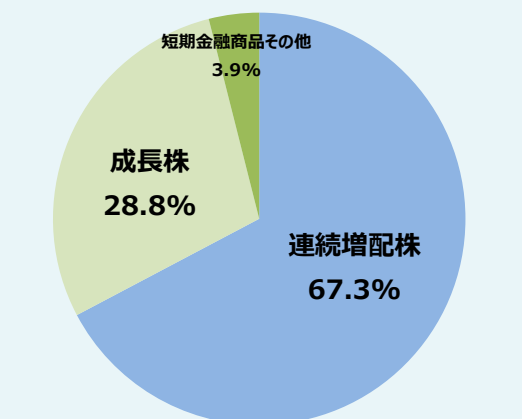
	産業グループ	比率
1	ソフトウェア・サービス	13.5%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	12.2%
3	資本財	11.1%
4	公益事業	8.4%
5	保険	6.5%
6	各種金融	6.4%
7	ヘルスケア機器・サービス	6.0%
8	小売	4.2%
9	半導体・半導体製造装置	3.6%
10	銀行	3.5%

※比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

組入上位10銘柄

	銘柄名	産業グループ	比率
1	アメリカン・ファイナンシャル	各種金融	2.2%
2	アメリカン・ファイナンシャル・グループ	保険	2.1%
3	アトモス・エナジー	公益事業	1.9%
4	コカ・コーラ	食品・飲料・タバコ	1.8%
5	センブラ・エナジー	公益事業	1.7%
6	ガートナー	ソフトウェア・サービス	1.7%
7	エクソンモービル	エネルギー	1.7%
8	メルク	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.6%
9	プロクター・アンド・ギャンブル(P & G)	家庭用品・パーソナル用品	1.6%
10	アンフェノール	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.6%

連続増配株・成長株比率



※米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。
※当ファンドにおける連続増配株の定義は、10年以上連続で増配を発表している銘柄です。(会計年度)
※比率は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

足元の運用経過と運用方針について

足元の運用につきましては、長短金利差の縮小が業績に逆風となる銀行株や保険株を売却しました。また、買収提案を受けて株価が上昇したソフトウェア・サービス株を売却しました。一方、業績見通しの確実性が高いと判断される公益事業株や、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス株を買付けました。

今後の米国株式市場は、2023年前半は、景気の悪化によるインフレの鎮静化というプラス要因と、企業業績の悪化というマイナス要因の綱引きにより、方向感の乏しい不安定な展開が予想されます。その後、2023年後半にかけては、業績面の悪材料の株価への織り込みが進み、株価は上昇に転じると想定されます。

当面の運用につきましては、ソフトウェア・サービス株、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス株を高位の組入れとします。

※当ファンドは2022年12月26日に決算を迎え、第27期の分配につきましては、見送りとさせていただきます。

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり が小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.595%（税抜1.45%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただけます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

2022年12月30日現在

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社 (旧岡三オンライン証券口座専用)	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
auカブコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
JPアセット証券株式会社	関東財務局長(金商)第2410号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
東海東京証券株式会社	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
光証券株式会社	近畿財務局長(金商)第30号	○	○		○
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
(登録金融機関)					
株式会社神奈川銀行	関東財務局長(登金)第55号	○			
株式会社福邦銀行	北陸財務局長(登金)第8号	○			
PayPay銀行株式会社	関東財務局長(登金)第624号	○		○	

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)